

「大手居酒屋チェーンが博多駅周辺を出店先として物色するなど、九州新幹線開業で出張需要が増えるとの見方が強まっている」とエリアコミュニケーションズ（福岡市）の西村健社長（五三）が、一度も衰退したことがない。店舗需要も根強く、常に物件不足」と経済の底堅さを評価する。

バブル崩壊後の一九九〇年代中ごろに福岡に事業所が集約する様子を見た。「新幹線開業後に再び集約がある。ファンド系の破たんまで新築オフィスビルは安くなり、格好の受け皿になりそう」。阿蘇市出身。

（本多孝）



ひと

## 第2回ビジネス交流会

### エリアコミュニケーションズ

事務所や店舗情報に特化した不動産ポータルサイト「テナントガイド」運営の㈱エリアコミュニケーションズ（福岡市中央区高砂2丁目、西村健社長）は10月23日、福岡市中央区渡辺通2丁目の「タカクラホテル福岡」で第2回ビジネス交流会を開催した。

第1部は、させば四ヶ町商店街協同組合の竹本慶三理事長が、講師として「日本一元気な商店街に学ぶ」をテーマに、商店街の活性化法など講演した。2部は参加企業の2社が自社商品サービスを紹介。3部は懇親会、名刺交換会で参加者同士の交流を図った。今回、不動産業者や店舗関連企業約100社が参加した。また09年1月23

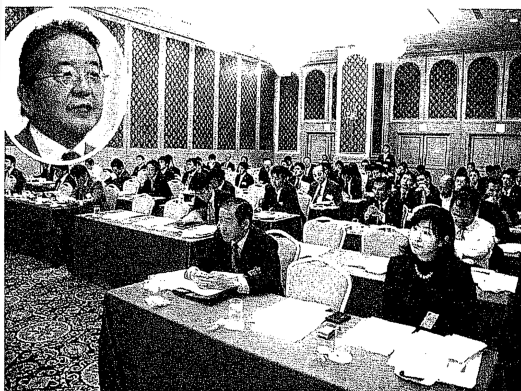
日、ビジネス・ブローカレッジ・ジャパンの清水美帆社長を招き、アクロス福岡で第3回セミナーを予定している。

## 全国47都道府県に拡大

また同社は11月1日から、サイト上で掲載する20都道府県の空きテナント情報を全国47都道府県に拡大した。

今回、大手不動産会社の大東建託㈱（東京都港区）が同サイトに加盟し、全国で管理する2500件のテナント物件情報が加わった。同サイト加盟の不動産企業は340社で、掲載物件は約2万件となる。

同社は2007年1月設立。資本金950万円。従業員7人。



竹本理事長がさせば四ヶ町商店街の成功事例を講演